

本庄市 予算

予算総額

505億 8,936万円

(前年度と比べ、
7億 2,708万円増)

会計別予算

区分	予算額	増減率
一般会計	288億 4,700万円	1.9%
特別会計	国民健康保険特別会計	79億 7,575万円 0.7%
	介護保険特別会計	63億 3,326万円 1.3%
	後期高齢者医療特別会計	9億 6,660万円 7.4%
特別会計 計	152億 7,561万円 1.3%	
公営企業会計	水道事業会計	25億 6,913万円 1.6%
	下水道事業会計	38億 9,762万円 △1.2%
公営企業会計 計	64億 6,675万円 △0.1%	
合計	505億 8,936万円	1.5%

※公営企業会計（水道事業会計・下水道事業会計）の予算額は、収益的支出額及び資本的支出額の合計額を記載しています。

市民1人当たり(※)が負担する市税

14万 2,942円

市民税	5万 9,909円	市たばこ税	7,102円
固定資産税	6万 3,915円	軽自動車税	3,364円
都市計画税	8,652円		

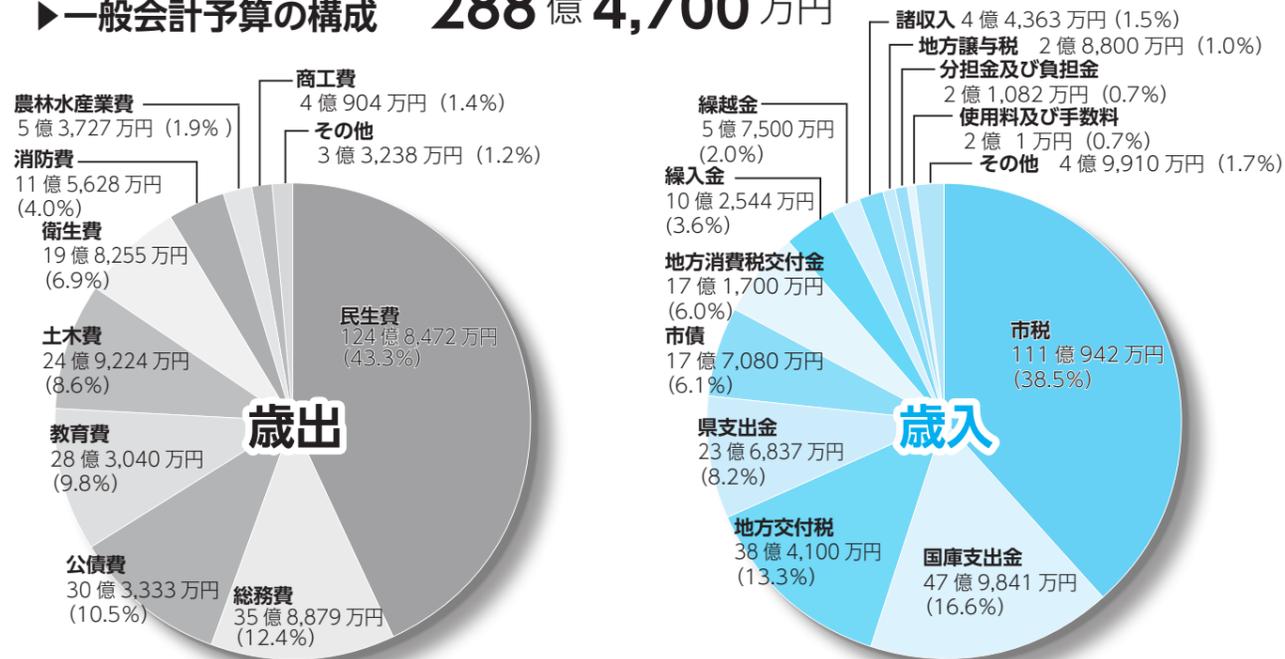
市民1人当たり(※)に使われるお金

37万 1,166円

民生費	16万 637円	衛生費	2万 5,509円
総務費	4万 6,176円	消防費	1万 4,878円
公債費	3万 9,029円	農林水産業費	6,913円
教育費	3万 6,418円	商工費	5,263円
土木費	3万 2,067円	その他	4,276円

※令和4年1月1日現在の人口(77,720人)で計算。

▶一般会計予算の構成 288億 4,700万円



※構成比は小数点以下第二位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

本庄市 施政方針

本年は、「本庄駅北口周辺整備基本計画」を推進し、長年の課題解決に向けて本格的に動き出す年となります。また、ウィズコロナ、アフターコロナを見すえ、地域経済社会の活性化や希薄化している人と人とのつながりを今一度取り戻し、ともに支えあう地域コミュニティの再構築についても推進してまいります。

「総合振興計画前期基本計画」の最終年として、この4年間の施策の進捗を適切に踏まえつつ、「あなたと活かす みんなで育む 歴史と教育のまち 本庄」の実現に向け、諸課題にも着実に対応してまいります。

「世のため、後のため」、しっかりと地に足をつけ、これま

での取組を直に、かつ、さらなるチャレンジを重ね、市政の進展に全力を尽くしてまいりますので、皆さまの一層のご支援とご協力を賜りたいと存じます。

行政経営に関する基本的考え方

デジタル社会にふさわしい市民サービスの向上、業務のより一層の効率化、質の高い教育の実現に努めるとともに、ふるさと納税の推進やシタイプロモーションなど、「選ばれる本庄市」を目指し、財源の確保に努めてまいります。また、市民協働によりSDGsの理念である持続可能な取組の推進、雇用の創出や地域連携の促進を図り、定住

人口、交流人口や関係人口の増加に取り組んでまいります。本年は、「信」をテーマとして、「支えあいとチャレンジ」を進めてまいります。市民の皆さまからの信頼が行政経営の礎であることを改めて心に刻み、着実に市政進展に取り組んでまいります。

予算編成の基本的考え方

本市の財政状況は、歳入の根幹をなす市税において、企業業績の回復等により伸びが見込まれますが、少子高齢化の進行による社会保障関連経費の増加や老朽化が進む公共施設の維持改修経費を考慮すると、引き続き厳しいもので

あると予想されます。今般の予算編成では、持続可能な財政運営を行うため、将来の負担が過大とならないよう努めながら、「総合振興計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策に効果的に取り組むとともに、分野横断的かつ優先的・重点的に取り組む「6つの重点施策」を掲げました。引き続き、新型コロナウイルス感染症への感染予防対策を継続し、状況にあわせて迅速かつ適切な手段がとれるよう財政調整基金を財源として躊躇なく対策を実施してまいります。

本庄市長 吉田信解